

# とやま労福協

■発行所／(社)富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL076-431-0539 FAX076-431-0510 ■発行責任者／安東 誠・編集者／青木真佐美



## 勤労者の 暮らしサポート事業に 取り組む



社団法人 富山県労働者福祉事業協会  
理事長 森本富志雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には2010年の新春を心新たにお迎えのことと存じます。本年は皆様にとって希望の持てる年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、日本の経済や政治において大きな転換期がありました。そんな中、富山労福協は昨年創立50周年を迎え8月21日に記念式典・講演・祝賀会を開催し、多くの皆様方よりたくさんの激励をいただき、新たな

スタートを切ることができました。心より深く感謝申し上げます。

さて、日本経済は底割れの状況にあり、社会保障や雇用・賃金などのバランスが崩れ、社会・経済システムの機能低下が起り、セーフティネットも十分に機能していません。また、貧困問題も年を追うごとに深刻化しています。こうした状況への様々な対応の結果、デフレがデフレを呼び起こすという縮小均衡の悪循環が起きています。新政権には何としても早期の経済対策を実施し一刻も早く経済の安定、社会の安定、将来不安を取り除くことが望まれるところです。

このような中、労福協は人としての尊厳が保障され「支えあいと助け合い」が活かされる社会、ゆとり豊かさが実感でき温もりのある社会を目指し、運動を更に発展させていかなければなりません。

労福協は、連合富山をはじめ北陸労金、全労済、県生協、勤信協、ボルフェートとやま、ゆ〜とりあ越中、富山北モータープールなどの労働団体と福祉事業団体が協働の公益事業として、また、富山県ライフサポートセンターを起点に、4地域において勤労者の暮らしサポート事業として取り組んでいます。今年も引き続き地域コミュニティが担えるよう推進してまいります。

労福協の収益事業では、連合富山を中心に各労働団体のご支援ご協力により1～4階のじゅうたん、壁紙をリニューアルさせていただきました。また、2階の真珠の間の音響設備も更新いたしました。深く感謝申し上げますと共に、より一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

今日までの力強いご支援に衷心より感謝申し上げます。引き続き着実に前進を図ってまいりますので、より一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

## 今年もよろしくお願ひ致します

職	事務局長	青木久	真佐美	監事	宮川泰明	鶴木清人	藤井敏和	尾島本武	山本野明	平野英	北宮正一	瀬川浩	有田朗	西田弘	西田弘	小尾泉	尾谷秀	松田友	上野祐	長房博	早黒博	石田均	永松均	松浦均	安東誠	藤畑司	草嶋治	森本富志雄
理	専務理事			副理事長																								

## 春闘・参議院選勝利 総力を結集!



日本労働組合総連合会富山県連合会  
会長 森本富志雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様方にはご家族と共に清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、日比谷の年越し派遣村のニュースで明けた昨年は、引き続き「世界同時不況」の大きな波に国の内外が揺れ動いた一年となりました。

また長く続いた旧自公政権による失政と不作為によって、雇用の現場では「解雇」や「雇い止め」、労働条件の切り下げ等の理不尽な対応が再び横行しました。加えて完全失業率は高止まりしたままの状況で、今春の新規採用すらも手控える企業があとを絶ちません。

そのような中、昨年2月、米国では共和党政権から民主党オバマ政権へとチェンジし、わが国においても昨年8月30日に施行された第45回衆議院議員選挙において、民主・社民・国民新党による「鳩山連立政権」が誕生しました。

まさにこれまで待ち望んだ「政権交代」が現実のもの

のとなった今、私たちは政権に「対峙」してきたこれまでとは「立場」を変え、新しい政権を支え、ともに新時代を築く気概をもって行動し、真の国民が主役の政治、国家を目指さなければなりません。

まずは「雇用の場の確保と安定」、そして「不安なく働ける環境」の再構築をはじめとする「勤労者のための政策実現」に向け、政労使で取り組んでまいります。

さて、連合富山は、昨年12月16日をもって結成20周年を迎えました。これもひとえに多くの諸先輩や関係諸団体のご支援の賜と深く感謝を申し上げる次第です。

迎える2010は春季生活闘争、今夏に施行される第22回参議院議員選挙において、私たちは組織の総力を結集し、勝利を勝ち取らなければなりません。

私たち連合富山は、「すべての働く者の連帯で 希望と安心の社会を築こう!」を活動の旗印に、本年もたゆみなく活動を展開していきます。どうか引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新しくスタートした2010年が皆様にとって輝かしく明るい一年となりますよう、ご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 人が輝く 「元気とやま」の創造を めざして



富山県知事  
石井 隆一

明けましておめでとうございます。西暦2010年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

労働福祉事業団体の皆様方には、日頃から労働者の福祉充実や生活向上のため、幅広い事業活動を展開されており、深く敬意を表します。

私は知事に就任以来、多くの県民の皆様のご支援とご支持をいただきながら、ふるさと富山県の発展と県民の皆様のご幸せのために邁進してまいりましたが、変わらぬ目標は、県民の皆様一人ひとりが輝いて生きられる「元気な富山県」を創ることです。このため、「活力」「未来」「安心」の三つを柱に、本県の新たな未来を切り拓く諸施策の推進に取り組んでまいりました。

まず、県民の悲願である北陸新幹線につきましては、平成26年度末までの金沢までの開業に向け、建設工事や富山駅付近の連続立体交差事業が順調に進んでいます。

また、東海北陸自動車道の全線開通を活かした伏木富山港の物流機能の拡充、企業立地や若者のUターン、観光客の増加など、これまでの取り組みの成果が現れてきています。

さらに、子育て支援については、放課後児童クラブなど子どもの居場所づくりが進むとともに、「子育て支援・少子化対策条例」の制定により、社会全体で子育てを支援する体制ができてきました。

現在、厳しい経済社会情勢にありますが、今後とも、勤勉で進取の気性に富む県民性、日本海側トップクラスの産業基盤、豊かで美しい自然、多彩な文化など富山県の優れた特色を活かして、経済産業の活性化、子育て支援、福祉・医療の充実、ふるさと教育をはじめ教育・文化の振興、環境の保全、安全・安心な地域づくりなど重要課題に積極的に取り組み、人が輝く「元気とやまの創造」をめざし、努力してまいります。

新年にあたり、県政に対するご理解とご協力をお願い申し上げますとともに労働福祉事業団体の限りないご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



## ろうきんは勤労者の 生活を応援します

北陸労働金庫

富山県本部長 山本 敏夫



新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいで健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりろうきんへのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

昨年、2008年の米国に端を発した金融不安からの影響が、日本経済へも大きなダメージを与え、特に輸出関連企業などに収益悪化をもたらし、派遣切りなど雇用環境・所得環境も悪化するなど過去最大級の景気の落ち込みとなりました。富山県内でも有効求人倍率0.49倍など勤労者における環境はまだまだ厳しい状況が続いています。また、株価は一時1万円台を回復したものの昨年の11月には9千円台を割りそうな状況の中、ドバイを発信とするユーロ安・ドル安による円高が今後の日本経済の先行き不透明感に拍車をかけるなど、まだその環境は厳しいものが感じられます。

このような金融経済環境下において、労金は引き続きお客様に安心と良質な金融サービスの提供を行うこ

と、「生活応援運動」の更なる展開により、多重債務からの救援はもとより、高金利のローンを利用しない運動を「ろうきんの使命」ととらえ今年も展開してまいります。

また、会員・勤労者の皆様にとって最高・最良のサービスを提供する金融機関となるため、そして環境変化と新たな社会的役割発揮に対応できる経営基盤を確立するために、次なるステップ「日本労金」の設立を皆様のご協力とご意見を得ながら目指してまいります。今年も、役職員が一体となって一層努力していく所存ですので、関係諸団体、組合員の皆様には、更なるご協力を頂きますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご発展を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 「組合員の全労済」を 目指します

全労済富山県本部

理事長 藤畑 総司



新年あけましておめでとうございます。

協力団体、組合員のみなさまには、全労済の事業に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

生活者を取り巻く環境は、世界的な不況による企業の業績低迷、雇用情勢の悪化などの経済的な側面のみにとどまらず、新型インフルエンザの発生と拡大など、出口の見えないトンネルを脱していません。

しかしながら、このような経済危機、生活危機が強まる中でこそ、生協である全労済の果たすべき社会的役割・責任は大きいものがあります。

生活協同組合の本旨である「組合員への最大奉仕」の原点に帰り、全労済の理念である「みんなであすけあい、豊かであんしんできる社会づくり」にむけて「組合員」のみなさまに安心・安全な暮らしを提供できるように、役職員一丸となって努力いたします。

本年も、人と人とのつながり、コミュニケーションを大切にし、協力団体の福祉活動へのご支援、ひとりひとりの保障ニーズに応じた保障の見直しや各種ご相談に応じながら各種共済の利用を促進していきます。

さらに、最良の品質を組合員に提供し続けるために、積極的に業務革新をすすめるとともに、契約者保護や経営の健全性・透明性など、重要な課題に着実に対応してまいります。

みなさまのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、「訪問介護」事業や、くつろぎの宿「越中庄川荘」の施設事業についても、多くの方のご利用をお待ちいたしております。

みなさまとご家族のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

2010年 元旦

## 商品の安全・安心を確保し、 「くらし」と「地域社会」へ お役立ちする富山県生協



富山県生活協同組合

理事長 松浦 均

新年明けましておめでとうございます。

2010の新春を、ご家族揃ってご健勝でお迎えになったこと心よりお慶び申し上げます。

皆様に支えられ2009年は、富山県生協創立50周年の節目の年を迎えることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。創立50周年記念事業として、県知事をはじめ多くのご来賓にご出席いただきました記念式典をはじめ、商品カタログによる記念セール（最大20%OFF・年5回）、北海道、和歌山県、静岡県への産地訪問活動や、全盲のバイオリニストによる記念コンサートなど、組合員還元・産地訪問・地域社会活動など幅広く記念事業活動を展開しました。また、組合員の普段のくらしへのお役立ちを高めていくため、2008年度から積み上げてきた、食の安全安心に関する信頼回復の活動を更に前進させるため、商品の安全確認5業務（産地・原料管理、商品仕様書点検、商品検査、工場点検、組合員対応）を軸

に、食品安全マネジメントシステム（ISO22000）の継続と前進、食の安全安心に関する情報提供、地産地消の推進に積極的に取り組んできました。

くらしをめぐる情勢は、世界的金融不安・経済の低迷、実収入の減少、雇用が不安定な状態です。また、商品の偽装事件、異物混入や消費期限超過問題など、食をめぐる問題も依然発生しています。

消費者庁の設置、政権交代に伴う食品安全や消費者行政は強化される方向にあると考えられ、事業・活動においても迅速に対応していくことが求められます。

富山県生協では、「協同の力で心豊かなくらしと共生社会を創ります」の理念の下、組合員の皆さまのふだんのくらしにもっと役立つ事業の展開に努めてまいります。また、新築移設するデイサービスセンター「新まる～な」（富山市月見町）を3月に開所し、笑顔があふれる福祉事業所となれるように地域の皆さまの協力をいただきながら事業を展開していく所存です。

皆さまの格段のご支援・ご協力をお願い申し上げ、年始のご挨拶とさせていただきます。



## 勤労者の福祉向上と 安定した経営の 維持・強化に向けて



財団法人富山県勤労者信用基金協会

理事長 石黒 博

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、2010年の初春をご家族お揃いでご健勝に迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年中は、当協会の事業活動等に対し、格段のご支援とご協力を賜り、深く感謝いたします。

当協会は、「勤労者の信用力を補完し、労働金庫の融資利用の途を開き、その経済的地位の向上と福祉の増進に貢献する」ことを主要命題に、地域勤労者の保証ニーズに的確に応えつつ、保証の拡大と安定した経営の維持・強化に向け、北陸労働金庫の系統保証機関として事業の推進に取り組んできました。

昨年は、世界的な経済危機が日本経済にも急激な景気の減速となって襲い、その後の政府の景気刺激策等により緩やかに景気は回復傾向となりつつも、企業業績の悪化、雇用環境の冷え込みなど、勤労者を取り巻

く生活・雇用環境は、大変厳しい状況となりました。

このような状況のなか当協会の信用保証事業は、住宅の取得・リフォーム等により有担保ローンは増加傾向となりましたが、自動車ローン等の無担保ローンは減少となりました。また、勤労者等の解雇・退職等に起因した債務整理・民事再生・自己破産等により、代位弁済件数・額が大幅に増加となりました。

2010年度は、緩やかな景気の回復に水を差すようなデフレ傾向が続くとすれば、昨年にも増して、勤労者の生活・雇用環境は厳しいものが想定されます。

当協会は、2010年度の事業運営等の推進にあたっては、このような厳しい経営環境等をふまえて、「勤労者の福祉向上と安定した経営の維持・強化」を第一義に、信用保証事業運営に取り組みます。また、「公益法人制度改革への対応」については、関係諸団体と連携して取り組みの前進を図る所存であります。

皆様には、2010年のご多幸を祈念しつつ、旧年に倍してのご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上



## 喜んでいただけるサービスの 向上と皆様の期待に 応えられる事業運営を

(株)ボルファートとやま

代表取締役社長 尾島 正和



新年あけましておめでとうございます。2010年の新しい年を無事に迎えることができましたことは、皆様方の格別のお引き立ての賜ものと厚く御礼申し上げますとともに心より感謝申し上げます。

昨年中は、多くの皆様に「ボルファートとやま」をご利用いただき、社員一同衷心より厚く御礼申し上げます。ボルファートとやまは、富山駅北に建設され昨年で25周年を迎えることができましたことも、皆様方のご厚情の賜と感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返って見ますと、アメリカの金融問題に端を発した世界的な金融危機による景気の悪化は、企業の不況を導き働く皆様にも大きな影響となりました。そのことで、ボルファートとやまを取巻く環境が大きく変化し、企業の自粛による大型会議、宴会などのキャンセル、結婚式の出席者の少人数化など厳しい状況を招き、事業運営にも大きな影響を与えました。

平成19年度で策定しました5カ年計画の喫緊課題であります「満足いただける心のこもったおもてなし」をスローガンに、「確実な利益、債務超過の解消、繰越損失金削減」の経営改革に向け社員一丸となり取組み、「債務超過の解消、繰越損失金削減」は20年度末

では解消することができましたが、21年度期に入り急激な環境変化に対応できず、残念ながらまだまだ皆様の期待に応えられる結果には至っておりません。本年は、事業計画の重点課題にも掲げました「月商の確保と黒字化への体質改善」は基より、「情報収集の強化とお客様の満足度への挑戦」に果敢に取り組む所存でございます。

一方で、営業活動では常に県下全域にアンテナを高くして情報収集に努め、全社員あげて「待ちの営業から攻めの営業」へ、提案型の営業手法に切替えていきます。

特に昨年より開始しましたカルチャー事業は、ボルファートとやまを「人でいっぱいの館内」、「元気を与えるボルファート」を目指し内容を充実させ取組んでまいります。今までボルファートを利用したことの無いお客様に利用していただき知名度の向上に努めてまいります。

その他事業では、今まで取組んでおりました「フラワーサービス」「メモリアルフラワー」「外注弁当・記念品」の斡旋事業も提案方法を見直しより充実な商品作りを提供します。

遠隔地のお客様へは、ボルファートへ足を運ばず利用できる商品づくり（斡旋商品、遠隔地のため利用できないお客様に対しても地域業者との提携、インターネットを利用した季節商品等を昨年以上に取組んでまいります。

また、昨年の10月には、会議室、宴会場のリニューアルを行い利用しやすい会館に様変わりをしています。皆様方には、本年も格段のご支援、ご配慮、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 利用客の増加と拡大で 安定した経営基盤の確立を

春日温泉観光開発株式会社

代表取締役社長 永田 博樹



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、希望と期待に満ちあふれた2010年の初春を、ご健勝で迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年中は、多くの皆様方に「ゆ〜とりあ越中」をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は事実上の「景気底打ち」が宣言されているものの、依然として雇用情勢の悪化による個人消費が下押しされるなど、取り巻く経営環境が大変厳しい中、4月以降、売上高の拡大と徹底した無理・無駄の排除によるコストの削減・経費の削減を図る中で、取り組みを進めてきました。

さらに、消費者の節約志向が一層進む中で、宿泊・日帰り利用予約にも大きな影響をきたし、特に宿泊利用客の減少にともない、本業である旅館部門の売上高減少により、大変な厳しい状況となりました。

しかし、「ゆ〜とりあ越中」にとって昨年は、大変名誉なこともありました。

テレビ東京「いい旅・夢気分」で風の盆・前夜祭特集に「ゆ〜とりあ越中」が紹介され、全国放映されま

した。また、皇室の秋篠宮文仁殿下が「生き物文化詩学会富山例会」にご出席され、当館にお泊りいただきました。今後、当社の事業発展にこの貴重な体験を生かしていきたいと思っております。

このような状況下で、2010年の「ゆ〜とりあ越中」は、(1) 団体客から個人・グループ客への利用形態が進展していること。(2) 日帰り・宿泊客の減少傾向に歯止めをかけること。(3) 少子高齢化時代を迎えていること。(4) 多様化するお客様サービスに応えること等、直面する諸課題に素早く対処し、安定した経営基盤の確立を図ることが求められる年となります。「ゆ〜とりあ越中」としても、日帰り・宿泊客の増加策は喫緊の課題であり、リピーター客の囲い込み、インターネットを活用した予約獲得、近隣地域等への訪問営業の強化など、全社員が全力をあげて取り組まなければなりません。

このように、今年も諸課題が山積している「ゆ〜とりあ越中」ではありますが、「勤労者の保養施設」として、今まで以上に愛され、親しまれるよう、全社員が一丸となって取り組みます。

「ゆ〜とりあ越中」はこれを契機に、今まで以上に真心のこもったおもてなしと、安心できる施設で皆様方をお待ち申し上げております。

今年も昨年同様、変わらないご愛顧をお願い申し上げます。

## 北陸新幹線開業を控え 営業努力を一段と強める

(株)富山北モータープール

代表取締役社長 森本富志雄



新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より富山北モータープールをご利用いただき、感謝とお礼を申し上げます。

JR富山駅周辺では、2014年度末に予定されている北陸新幹線開業を控え、都市基盤整備事業が着々と進められています。更に、2016年に完成予定の連続立体交差事業については、鉄道を高架化することにより道路の新設や拡幅が行われるとともに、駅部での南北を連絡する歩行者専用通路の整備や北口の路面電車化された富山ライトレール線と南口の既存路面電車との接続など南北一体となったまちづくりが推進されます。駅周辺は独自の駐車場が多く設置され、低価格の駐車場も出てきました、今後は低価格競争が売上に大きく

影響していくと考えられます。

日本経済の後退懸念や県内の新車登録台数の減少傾向など、厳しい経営環境となっていますが、利用者の皆さまのサービス向上に心がけてまいります。

環水公園では、リレーマラソンやクリスマスの花火等の各種イベントに年々人が集まり賑わいを増しています。また、2010年4月の全日本チンドンコンクールは、県庁前公園で確保できる観覧席が飽和状態であることや、雨天時使用の県民会館では、収容人数が少ないことにより会場を富山市総合体育館に移されることになり時間駐車に大きく影響すると期待しております。

本年も営業努力を一段と強めることはもちろんのこと、「安全で、便利で、安心して利用できる駐車場」として顧客の期待に応えるべく経営改善を考えていきますので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も皆様とご家族にとって素晴らしい年でありませうご祈念申し上げ、年頭のあいさつとします。

## 新たな福祉ニーズに 応える事業の拡大をめざす

(財)富山県労働福祉基金

理事長 森本富志雄



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新年を穏やかにお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

常日頃より富山県労働福祉基金に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

今日、世界経済をはじめ日本経済においても未曾有の不況に陥っております。勤労者への雇用・賃金不安、生活者への社会的不安など未だかつてない局面を迎えています。政府の需要刺激策により一部では回復しているものの、円高・株安などにより引き続き先行き不安は予想されます。

富山県労働福祉基金は基金運用益と富山県及び市町自治体、さらに県内福祉事業団体の臨時負担金を活用し「中小企業勤労者や未組織労働者の福祉の向上・発展及び生活の安定を図るための」事業を展開しています。

勤労者の生活は従来以上に厳しい環境となっており、福祉基金への期待はより一層大きなものとなってまいります。従来の付加給付事業はもとより子育て支援、退職後も含めた生涯福祉支援などにも広がりを見せています。

皆さんのニーズに応えるため鋭意努力してまいります。今後とも皆様のより一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

### 主な事業

- (1) 県内の宿泊（保養）施設18か所の利用補助事業
- (2) 海の家（岩瀬浜・永楽荘、千里浜・いかり）と太閤山ランド「プール広場」利用補助事業
- (3) 立山山麓スキー場（オールシーズン）リフト券の補助事業
- (4) 「教育ローン・福祉ローン、出産・子育て資金」融資保証料一部助成事業
- (5) 富山県立近代美術館、富山県水墨美術館、高岡市美術館、高岡市万歴史館、富山市郷土博物館、佐藤記念美術館、富山市民民族芸村、富山市科学博物館、富山市天文台など9施設の常設鑑賞券助成事業